



発行所  
**仏教タイムス社**  
 東京都新宿区市谷町2-7  
 東2ビル6F 〒162-0843  
 電話代表 (03)3269局6701番  
 F A X (03)3269局6700番  
 京都支局 〒600-8451  
 京都市下京区若宮通松原下ル  
 亀岡町53番地 フォレストコート  
 五条若宮202号 〒600-8451  
 電話 (075)351局0999番  
 F A X (075)351局6477番  
 6ヶ月9,900円、1年19,800円  
 振替00170-6-33097番  
 http://www.bukkyo-times.co.jp  
 ©仏教タイムス社 2023

# 目的を明確にして対策を

## 神戸市佛 文化講座 寺院の防犯と保険学

神戸市佛教連合会は10日、中央区の本願寺神戸別院で「寺院の防犯と保険」をテーマに第109回佛教文化講座を開催し、約70人が参加した。総合防犯設備士でカギの



情報に感わされない対策を伝授

1-10番(取締役の島田章也氏が「目からウロコ」の防犯対策」と題して講演。冒頭で人間の錯覚を突いた簡単な心理テストなどを行い「人は誰でも騙されることを表証し、

自分たちは大丈夫とは思わないで」と強調した。防犯対策の最重要ポイントとして、「何のための防犯対策か、何から何を守りたいのかをしっかりと決める」「重要性を指摘」などは装束対策を問うと、剣道四段で枕元に木刀を置いている、と答える人がいる。これは装束対策ではなくて強盗対策」と説明した。「うちは盗られるほどの物はない」という意識にも注意を喚起し「犯罪者は1-3万円程度の物があれば十分盗む。大切なものは、盗むのから見てではなく、彼らから見て盗む物がないかどうかが、エントリの差外機車のバッテリー…。決して犯罪者はバカではない。

犯罪企図者の気持ちになって防犯を考えるように」と助言し「防犯力アップが設置されているお寺は狙われにくい。防犯対策には少なからずコストがかかる。情報に感わされずに、自分自身で考えることが重要」と話した。

9社の保険代理店を経営する㈱ヤン取締役の山田勝正氏が「保険業から見たお寺の保険」をテーマに講演。家全体の補償範囲が広がり、補償条件が難しくなっている時代。木造のお寺、鉄筋コンクリートのお寺は違う。被害事故が補償の対象か否か、分かっていく」とし、現在加入している保険が「自分に必要で欲しい補償になっているかどうか」についてチェックの代理店も交えてセッションの必要性を語った。特に保険の「フレッドCMやネット勧誘を騙呑みにする危険性を指摘」CM

は考えさせないことを目的にしており、美麗・安心・安心・簡単というイメージを植え付けて正しい理解を深めさせない」と警鐘を鳴らし「保険の正しい見方で、保険を味方しているか。税金と保険は安い方がいい」とも意味がな」と話した。

既存の保険商品の組み合わせで、各寺院の事情にマッチした補償内容にできると説明。プロの代理店の活用をすすめた。